

付替林道 法面アンカー工事のお知らせ

平成 22年 8月 5日
袋井土木事務所 ダム管理課

昨年7月30日に路面と法面の一部に変状が確認された付替林道の法面对策工事について、現在の状況をお知らせします。今年2月から実施していましたが、地盤にかかる荷重の軽減と雨水の浸透を防止する工事については、5月末までに完了しました。その後の変位観測においても、付替林道の安全性に影響を及ぼすような変位は観測されていません。今後は、林道の開放に向けさらに安全度を高めるため、アンカー工事を実施いたします。

対策の状況

- 排水対策・・・林道法面へ排水管を設置。
- 表層崩壊防止・・・鉄筋挿入工(ロックボルト)を実施。
- 荷重の軽減・・・道路盛土を、高さ約1m除去。

以上の対策について、5月末までに工事を完了しました。

対策の効果

対策の効果を検証するため、変状が発見された昨年7月末から変位観測を継続してきましたが、上記工事の完了後は、大きな変位は観測されていません。梅雨時期の大雨による影響も見られないため、上記対策の効果が確認されました。

今後の予定

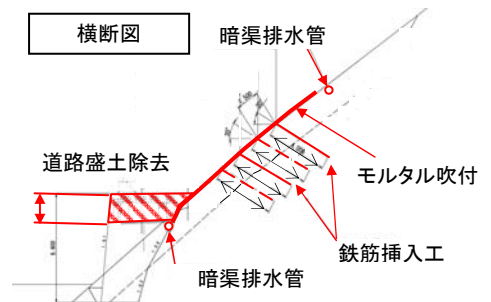
付替林道の開放に向け、さらに安全度を高めるため、道路盛土の基礎斜面へのアンカー工事を実施します。なお、アンカー工事完了まで変位観測を継続し、安全性を確認したうえで、杉沢左岸林道を一般開放する予定です。開放後は散策路として歩行者及び自転車のみ通行ができます。バイク、自動車の通行はできません。(ただし、林道管理等のために許可された車両は通行可能です)

アンカー工事

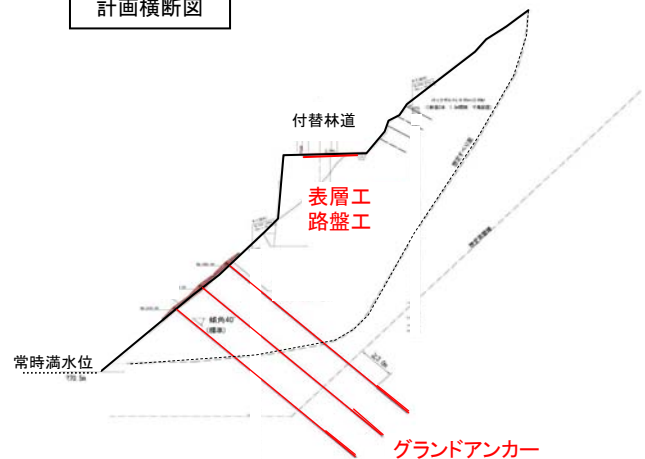


平成22年7月21日 法面整形状況

完了写真



計画横断面図



今後の対策状況については、随時お知らせします。